

# FastGene™

## ダイターミネーター除去キット

Cat.No. FG-9411 (50 preps)

---



## 目次

コンポーネント .....	2
保管と準備 .....	2
安全にご使用していただくために —リスクとアドバイス— .....	2
キットの仕様 .....	3
プロトコル シーケンシング反応のクリーンアップ .....	3
プロトコル バッファー交換.....	4

## コンポーネント

FastGene™ ダイターミネーター除去キット	FG-9411 (50 preps)
FastGene™ DT フィルターカラム	50 個
FastGene™ G50 レジン	5 × 525 mg
2 mL コレクションチューブ	50 個
膨潤バッファー DT	50 mL

### キットに含まれないアイテム

消耗品： 1.5 mL 遠心チューブ、ディスプレイザブルピペットチップ

装置： マニュアルピペット、遠心チューブ用遠心機、ボルテックスミキサー、防護用品（白衣、グローブ、ゴーグル）

## 保管と準備

FastGene™ ダイターミネーター除去キットは、室温(15-25℃)にて湿気を避けて保管してください。この条件でキットを保管した場合、最長12カ月間は性能と品質が落ちることなく安定性が保たれます。

**FastGene™ G50 レジンは、乾燥粉末の状態です。ご使用前に膨潤させる必要があります。プロトコルを開始する前に、以下をご準備ください。**

- FastGene™ G50 レジンがボトルの底にあることを確認します。
- 8.0 mL の膨潤バッファー DT をボトルにアプライし、すぐに転倒混合とボルテックスミキサーで攪拌しレジンを十分に懸濁します。  
注意：レジンの塊が残らないように十分に懸濁してください。
- FastGene™ G50 を、一晩冷蔵(4℃)でインキュベーションして膨潤させます。  
(急ぐ場合は、室温(15-25℃)で少なくとも30分以上インキュベーションしてください。)  
注意：膨潤したFastGene™ G50 レジンは、4℃で14日間は保存できます。ボトル1本につき10 preps分のレジンが含まれます。

## 安全にご使用していただくために —リスクとアドバイス—

警告：FastGene™ ダイターミネーター除去キットは、研究目的での使用に限られます。人や動物の疾病診断目的には、ご使用いただけません。化学物質を取り扱う際は常に、実験に適した白衣、使い捨てグローブ、保護ゴーグルを着用してください。本キットの使用は、ラボ実験の訓練を受けた方が、医薬品安全性試験実施基準に基づいて行うことを強く推奨いたします。

## キットの仕様

FastGene™ ダイターミネーター除去キットは、余分なダイターミネーターや遊離ヌクレオチドの除去、脱塩、およびバッファー交換を目的としてご使用頂けます。

本製品は20 bpより長いDNA断片を精製することが可能です。

充填されたレジン内に20 bp以下の低分子のフラグメント等が保持されるため、PCR産物からのプライマー除去には適しておりませんので、ご注意ください。

サンプル	シーケンシング反応液、PCR産物、DNAサンプル等
サンプル量	20～50 µL
回収率	>90%
準備操作時間	5分間*

\*レジンの膨潤時間は除く

## プロトコル

### シーケンシング反応のクリーンアップ

操作を開始する前に、膨潤したFastGene™ G50レジンが「保管と準備」の手順（2ページ）に従って十分に用意されていることをご確認ください。1カラムあたり750 µLの膨潤レジンが必要です。

<b>スピンの準備</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>FastGene™ DT フィルターカラムを2 mL コレクションチューブに入れます。</li><li>750 µL の膨潤レジンをカラムにアプライします。気泡が入らないように注意してください。 注意：分注前にボルテックスミキサーで攪拌し、レジン溶液を均一にしてください。</li><li>750 × g (3,000 rpm) で3分間、遠心機にかけます。 注意：遠心力が高過ぎるとレジンが潰れて機能しなくなるのでご注意ください。</li></ol>
<b>精製</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>レジンが充填されたFastGene™ DT フィルターカラムを、新しい1.5 mL 遠心チューブの中に入れます（遠心チューブはキットには含まれておりません）。</li><li>カラム内のゲル中央に、サンプル20～50 µL をゆっくりロードします。 注意：サイクルシーケンス反応時に蒸発によりサンプルが20 µL 未満の場合はミリQ水等で20 µL に調整してください。</li><li>750 × g (3,000 rpm) で3分間遠心し、精製サンプルを回収します。</li><li>回収した精製サンプルは、各シーケンサーの推奨に従ってご使用ください。</li></ol>

## バッファー交換

操作を開始する前に、膨潤したFastGene™ G 50レジンが「保管と準備」の手順（2ページ）に従って十分に用意されていることをご確認ください。1カラムあたり750 µLの膨潤レジンが必要です。

スピнкаラムの準備
<ol style="list-style-type: none"><li>1. FastGene™ DT フィルターカラムを2 mL コレクションチューブに入れます。</li><li>2. 750 µL の膨潤レジンのカラムにアプライします。気泡が入らないように注意してください。 注意：分注前にボルテックスミキサーで攪拌し、レジン溶液を均一にしてください。</li><li>3. 750 × g (3,000 rpm) で3分間、遠心機にかけます。 注意：遠心力が高過ぎるとレジンが潰れて機能しなくなるのでご注意ください。</li></ol>
バッファー交換
<ol style="list-style-type: none"><li>4. コレクションチューブ内の分画を廃棄し、レジンが充填されたFastGene™ DT フィルターカラムを、再度コレクションチューブに戻します。</li><li>5. 交換するバッファー 350 µL をカラムにアプライし、蓋を閉めて750 × g (3,000 rpm) で2分間遠心分離します。</li><li>6. カラムを新しい1.5 mL 遠心チューブの中に入れます（遠心チューブはキットには含まれておりません）。</li><li>7. カラム内のゲル中央に、サンプル 20 ~ 50 µL をゆっくりロードします。</li><li>8. 750 × g (3,000 rpm) で3分間遠心し、精製サンプルを回収します。</li></ol>



日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル18階  
<https://n-genetics.com> ✉ [info@genetics-n.co.jp](mailto:info@genetics-n.co.jp) ☎ 03 (3813) 0961 📠 03 (3813) 0962

本製品はライフサイエンス分野における研究での使用を目的としています。仕様は2024年1月現在のものです。製品は改良のため予告なく変更する場合があります。

M0097